

夕張市財政再生計画の変更 (平成31年3月)の概要

- 昨年12月11日に夕張市の財政再生計画の変更について総務大臣が同意したが、その後に発生した新たな事情に早急に対応するため、平成30年度及び平成31年度の各年度分の歳入・歳出額を変更するもの。
- 変更に伴い必要となる財源については、新たな歳入の確保により対応することとしており、財政再生計画の主要部分である計画期間等については変更はない。

歳入・歳出額の変更における主な内容

1 変更事項

平成30年度

(1) 幸福の黄色いハンカチ基金積立 (+257百万円)

夕張まちづくり寄附条例に基づき、夕張市のまちづくりに関して寄せられた寄附金(ふるさと納税)が、予算額を大きく上回っており、当該寄附金を「幸福の黄色いハンカチ基金」へ積み立てるもの。

(財源) 寄附金収入257百万円

(2) 除雪委託事業 (+24百万円)

今年度は例年より降雪量が増加しており、当初の見込みよりも除雪出動回数の増加が見込まれることから、所要の経費を計上するもの。

(財源) 一般財源24百万円

※ 変更に必要なとなる一般財源については、財政調整基金繰入金により対応。

平成31年度

(1) 拠点複合施設整備事業 (+447百万円)

市の地域再生の一環として、コンパクトシティの実現に向けた交通結節点機能や子育て支援機能、図書・公民館等を有する複合施設の建設工事について、平成30年度の未実施分を平成31年度に計上するもの。

(財源) 地方債271百万円、寄附金収入176百万円

(2) 夕張支線代替輸送運営費等補助 (+14百万円)

平成31年4月に廃止されるJR石勝線夕張支線の代替手段としての路線

バスの運行を行う夕張鉄道（株）に対する運営費補助や利用する市民への負担軽減補助などに係る費用を計上するもの。

（財源）夕張市石勝線代替輸送確保基金※繰入金 14 百万円

※JR北海道からの拠出金（750百万円）を積み立てた基金

2 性質別歳入・歳出の増減

主な増減は以下のとおり。

平成30年度

（1）歳入

国・道支出金の増（+4百万円）、繰入金の減（▲50百万円）、地方債の増（+114百万円）、その他の増（+262百万円）により329百万円の増

（2）歳出

人件費の増（+12百万円）、物件費の減（▲5百万円）、維持補修費の増（+20百万円）、建設事業費の増（+21百万円）、繰出金の増（+3百万円）、補助費等の増（+21百万円）、積立金の増（+257百万円）により329百万円の増

平成31年度

（1）歳入

地方税の増（+92百万円）、地方譲与税の減（▲12百万円）、地方交付税の減（▲469百万円）、国・道支出金の増（+57百万円）、繰入金の増（+498百万円）、地方債の増（+309百万円）、その他の増（+134百万円）により611百万円の増

（2）歳出

人件費の増（+23百万円）、物件費の増（+202百万円）、維持補修費の増（+39百万円）、扶助費の減（▲121百万円）、建設事業費の増（+510百万円）、公債費の減（▲29百万円）、繰出金の減（▲36百万円）、その他の増（+23百万円）により611百万円の増